

## 2 基本理念

山元町の復旧・復興は、行政の力だけでは成し得ません。  
みんなで1つのものを作り上げるチームという意識が大切です。町民一人ひとりが復興の主体となり、町の総力を結集・協働し、「チーム山元」として心をひとつに、復興と更なる発展を図ります。

### 基本理念1 災害に強く、安全・安心に暮らせるまちづくり

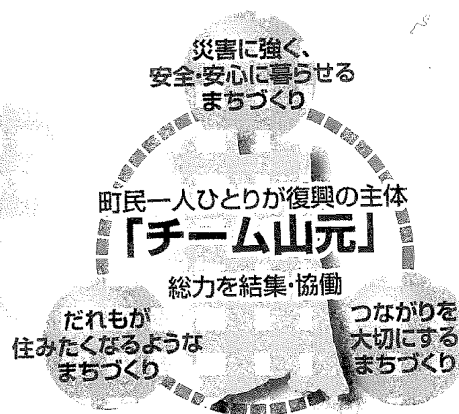
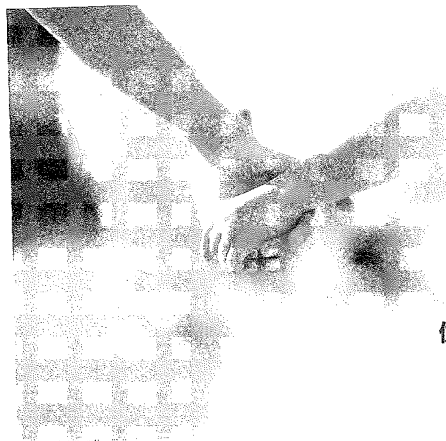
今回の震災からの教訓の1つとして、すべての災害を防止することは、大変困難であるということがあります。今後は、防災にとどまらず「減災」をも視野に入れ、仮に災害が発生しても、被害を最小限にとどめ、速やかに復旧できるまちづくりを目指します。

### 基本理念2 だれもが住みたくなるようなまちづくり

災害からの復興を図っていく中で、震災からの復旧にとどまらず、これまでの町が抱えていた課題である「人口減少」、「少子高齢化」、「にぎわいと活力の創出」などを考慮するとともに、「新たな産業形態の確立」、「新たな居住地の形成・集約化」など長期的ビジョンを視野に入れた抜本的な再構築を行い、だれもが住みたくなるような「魅力」や「快適さ」を感じるまちづくりを目指します。

### 基本理念3 つながり大切にすまちづくり

山元町は、これまでの歴史や文化、地域のコミュニティにおける「人と人との絆」といった「つながり」を大切にしてきました。復興にあたって、これまでに培ったつながりを活かしながら、新たなつながり構築し、そのつながりにより町の魅力を磨きあげ、活力を呼び込みます。



## 3 復興の将来像

### 『キラリやまもと!みんなの希望と笑顔が輝くまち』

この将来像は、山元町が震災によって失われたかつての「輝き」を取り戻し、また、新しい姿に復興を遂げることで、「山元町に生まれ育ち、暮らして良かった」、「山元町に行ってみよう、住んでみたい」、「山元町に住んで良かった」とあらゆる世代が実感でき、さらなる将来に向けて「希望」を持ち、震災を乗り越え、安全・安心に暮らせる喜びや幸せを表す「笑顔」に満ちあふれ、にぎわいのある町を目指していく、という想いを込めています。

山元町の8年後のまちの姿として、この将来像を定め、これからのまちづくりを進めていきます。



### 将来像実現に向けた考え方

山元町には、里山や黒松の海岸林等の豊かな自然環境、年間を通じて温暖で穏やかな住みよい気候、りんご・いちご・ほっき貝をはじめとする特産品、JR常磐線・常磐自動車道・国道6号等の恵まれた交通網など数多くの「地域資源」があります。

しかしながら、今回、震災により多くの「地域資源」が壊滅的な被害を受けました。これらの資源は山元町らしさであり、町の魅力そのものです。このような資源を早急に再生し、さらに磨き上げ付加価値を高めることにより、町に人を呼び戻し、人々の笑顔とにぎわいを創出します。

また、復興の主役は町民一人ひとりです。地域に誇りを持ち、一丸となって地域づくりに関わりを持つことにより、絆が生まれ、復興への大きな力が発揮されます。これからは、先人が築きあげた文化や伝統を継承しつつ、蘇った山元町、新たな山元町を創り上げ、さらなる希望に満ちあふれるようなまちづくりを進めます。

最後に、第4次山元町総合計画で築きあげてきた「つながり大切にす、生活と生産のなかで、地域資源

を活かし続ける町」に込められた想いを引き継ぎながら、新たな将来像を実現するためには、町民一人ひとりがこの将来像を共有し、郷土愛と情熱を持ってまちづくりに参画する力の結集が不可欠です。そのため、町民と行政がともに知恵と力を出し合う、協働のまちづくりを促進していきます。

